

# 学校だより 第25号



心豊かで 確かな学力をもち 心身ともに健やかな子どもの育成

令和7年3月7日 津市立榊原小学校

やっと春のおとずれを感じるころとなりました。大好きな6年生と過ごす日も残りわずかになってきました。楽しい思い出や、1年間の成長を振り返りながら過ごしています。

## たてわり遊び (幼小交流)

2月26日 (水)

にげろ〜!



今回のたてわり遊びは、榊原幼稚園の4・5歳児さんも一緒に参加して、紅白に分かれて遊びました。早めに到着した園児さんは、遊具を楽しんでいました。

紅組は「だるまさんがころんだ」白組は「かわり鬼」です。だるまさんがころんだでは、高学年の子どもたちが、幼稚園のお友だちに寄り添うように、走ったり止まったりしていました。かわり鬼では、広いグラウンドを思いっきり駆けて、楽しそうでした。かわいい、元気いっぱいの園児のみなさん、またいっしょに遊びましょうね。

## 英語交流

2月26日 (水) 5年生 6年生



津市立家城小学校と3回目の英語交流を行いました。5年生は憧れのヒーローを、卒業を控えた6年生は、中学校で入りたい部活動や、将来の夢を一人ずつ発表しました。どちらの学年も、お互いに慣れた様子で、発表したり、質問を交わしたりしていました。6年生は、卒業

式で歌う歌や、六送会のこと、「中学校の部活動の試合で会いたいね」など、5年生は家族のお料理自慢など、どんどん話が発展していました。少人数の学校同士なので、こうして交流する機会を設けることは、良い刺激となります。学んだ英語を使って伝わる喜びや、同学年の友だちと会話をする楽しさを感じていました。

## 学校保健委員会

2月27日 (木)



日頃からお世話になっている学校医、学校歯科医 (本日欠席)、学校薬剤師の先生と、保護者代表のPTA会長さんに来ていただき、学校保健委員会を開催しました。

養護より、健康診断や歯科検診の結果、栄養状況や、保健室の利用状況、欠席などについて、資料を基に状況をお知らせし、委員会や外部講師を招いての学習など学校の取組を、写真とともに見ていただきました。スマホやタブレットの使用と視力への影響についてなど、意見を交流しました。



## 幼稚園と交流

3月3日(月) 4日(火) 1年生



「しょくパンゲーム」だよ。  
リズムよくできるかな。



次は「お店屋さん」です。  
お財布をもって回ってください。



どれにしますか？  
プレゼントも、作ったよ。

小雨の降る中、榊原幼稚園の年長児さんが、1年生教室に来てくれました。3日は、初めに輪になって自己紹介をし、1年生が考えた「食パンゲーム」「お店屋さん」「なんでもバスケット」を、なかよく楽しみました。



給食の時間には、小学校の給食を一緒にいただく体験です。3日(月)は雛祭り献立です。片付けのころには、2~4年生も、様子を見に教室にやって来て、「こうするんだよ」と教えていました。4日(火)は、パンが主食の給食です。この日も、食べられる量を調節して、残さないように食べました。入学準備は万端です。

## 地区学卒講式

3月5日(水) 6年生

6年生は、3年生から学習を続けてきた地区学習会の卒講式がありました。初めに、6年生で新たに学習した人権課題の一つである部落問題を中心に、学習を振り返りました。「洗染一揆」や「全国水平社の創立」など総合的な学習の時間に学習してきたこと、人権フェスティバルで聴いた人権バンド『びり〜ぶ』のメンバーのお話を思い出しながら、「差別する人がいるから、差別は今なお残っている」「部落差別、障がい者差別、外国人差別をはじめ、あらゆる差別をなくしたい」「人と人がつながって、誰もが安心して暮らせる地域にしたい」「そのために私にできることを考えよう」という時間でした。人権教育課の中西先生と人権教育指導員の前田先生からは、ご自身の体験もまじえながら、差別をなくすために行動することの大切さや、差別をなくすために、自分の中にある差別心、決めつけや偏見について考え続ける、葛藤し続けるというお話をしていただきました。

「知らないことが差別を生む。正しいことを知ったり、考えたりすることを続けたい。」

「勉強して知識は増えてきた。これを使わんままではあかんと思う。それおかしいんと違うと伝えられるようにしたい。」「差別をする人には、反対していきたい。」「今も差別があるのは事実。思いだけじゃなくて行動したい。」

子どもたちは真剣に、感想を伝え合いました。



**卒業証書授与式 3月19日(火) 9:20~ 4人が卒業します**

榊原小学校のホームページ (二次元コード)

